2027年3月期 第2四半期

決算説明資料

KPPグループホールディングス株式会社

東証プライム　証券コード：9274

2026年11月20日

KPPグループホールディングス株式会社
KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD.

目次

01 2027年3月期 第2四半期決算概要 …… p.2

02 2027年3月期 業績予想に対する進捗 …… p.10

03 第4次中期経営計画進捗状況（2026年3月期～2028年3月期） …… p.14

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

01

2027年3月期 第2四半期決算概要

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

連結業績サマリー

- ✓ パッケージング事業で2社、ビジュアルコミュニケーション事業で3社のM&Aを実施。
- ✓ 各地域セグメントにおける販売価格の見直し、既存事業での販売伸長、為替影響も加わり、増収、売上総利益は増益。
- ✓ 人件費、物流費等、販売費及び一般管理費も増加したが、営業利益も増益。
- ✓ 営業外収益、負ののれんによる特別利益の計上もあり、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は大幅に増加。

（単位：百万円）	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
売上高	319,186	**348,018**	+28,832	+9.0%
売上総利益	62,348	**72,925**	+10,576	+17.0%
販売費及び一般管理費	58,467	**68,357**	+9,890	+16.9%
営業利益	3,881	**4,568**	+687	+17.7%
経常利益	1,976	**3,231**	+1,254	+63.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,247	**4,034**	+1,786	+79.5%
EBITDA ※	10,089	**13,179**	+3,090	+30.6%

※ EBITDA…経常利益＋減価償却費＋のれん償却費＋支払利息等

為替レート（期中平均レート）
27年3月期2Q
EUR＝184.44円
豪ドル＝110.98円
26年3月期2Q
EUR＝162.24円
豪ドル＝93.51円

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

セグメント別業績

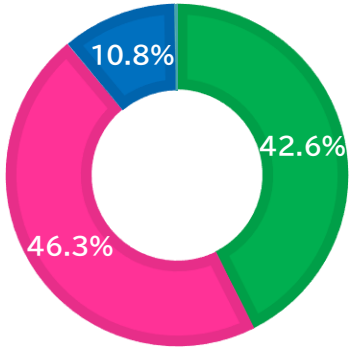
- ✓ 北東アジアは、板紙、化成品事業が好調で増収・増益。
- ✓ 欧州／米州は、各種商品での販売価格の見直し、M&Aや円安ユーロ高の効果もあり増収、売上総利益は増益ながら、販管費の増加をカバーするには至らず減益。
- ✓ アジアパシフィックは、パッケージング、ビジュアルコミュニケーション事業ともに伸長し増収・増益。

（単位：百万円）

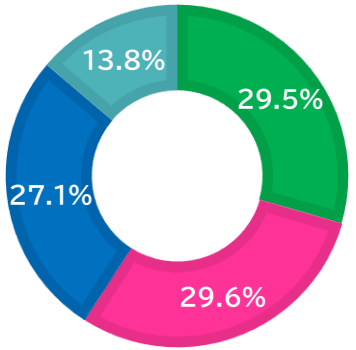
		2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
北東アジア	売上高（セグメント間売上を含む）	144,020	**149,151**	+5,131	+3.6%
	セグメント利益	1,195	**1,499**	+304	+25.4%
欧州／米州	売上高（セグメント間売上を含む）	144,900	**162,073**	+17,173	+11.9%
	セグメント利益	1,923	**1,505**	△418	△21.7%
アジアパシフィック	売上高（セグメント間売上を含む）	30,460	**37,756**	+7,296	+24.0%
	セグメント利益	1,003	**1,380**	+377	+37.6%
不動産賃貸	売上高（セグメント間売上を含む）	991	**1,006**	+15	+1.5%
	セグメント利益	300	**699**	+399	+133.0%
合計	売上高（※調整額を含む）	319,186	**348,018**	+28,832	+9.0%
	営業利益（※全社費用等調整後）	3,881	**4,568**	+687	+17.7%

※ 売上高の調整額…セグメント間取引の消去等
※ 全社費用等…主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費

売上高構成比



セグメント利益構成比





※ 売上高の構成比は、調整額を除く4セグメント合計で算出。
※ 利益の構成比は、全社費用等を除く4セグメント合計で算出。

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

事業ポートフォリオ別実績　（北東アジアセグメント）

業績の概要

- ✓ 紙事業は、国内では需要減による販売数量の減少を販売価格の上昇で補ったものの、中国は引き続き需要の回復が見られず、売上高・売上総利益は前年同期並み。
- ✓ 板紙事業は、段ボール原紙を中心とした販売数量増により、売上高・売上総利益ともに増加。
- ✓ パルプ・古紙事業は、販売数量の減少により売上高は減収、売上総利益も減益。
- ✓ 化成品事業は、販売価格修正等により、売上高・売上総利益ともに増加。

（単位：百万円）	売上高			売上総利益		
	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比
紙	65,785	**65,930**	+0.2%	4,805	**4,800**	△0.1%
板紙	33,855	**37,933**	+12.0%	1,576	**1,875**	+19.0%
パルプ・古紙	22,411	**20,253**	△9.6%	2,235	**2,165**	△3.1%
化成品・その他	21,969	**25,035**	+14.0%	2,633	**3,329**	+26.4%
合計	144,020	**149,151**	+3.6%	11,249	**12,169**	+8.2%

※ 管理会計上の概算数値

※ セグメント間売上高を含む

※ 中間連結会計期間より、新連結会計システムの導入で製品別情報をより詳細に把握できるようになったため、収益の分解区分を見直し、前年分にも適用。

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

事業ポートフォリオ別実績 （欧州／米州セグメント）

業績の概要

- ✓ 紙事業は、需要低迷により販売数量は減少したものの、販売価格の見直しと円安ユーロ高の影響により、売上高、売上総利益ともに増加。
- ✓ パッケージング事業は、新規顧客向けの販売拡大と第2四半期から連結したHein Verpackungenの寄与、販売価格の見直し等により、売上高、売上総利益ともに増加。
- ✓ ビジュアルコミュニケーション事業は、既存事業の販売増、前期に実施した3件のM&A等の効果、販売価格の見直し等により、売上高、売上総利益ともに大きく増加。
- ✓ 売上総利益に占めるパッケージング・ビジュアルコミュニケーション事業の合計構成比は58.2%（前年同期53.8%）へ上昇。

（単位：百万円）	売上高			売上総利益		
	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比
紙・その他	76,850	**77,716**	+1.1%	19,860	**20,777**	+4.6%
パッケージング	49,027	**56,121**	+14.5%	17,308	**19,625**	+13.4%
ビジュアル コミュニケーション	19,023	**28,236**	+48.4%	5,856	**9,305**	+58.9%
合計	144,900	**162,073**	+11.9%	43,024	**49,707**	+15.5%

※ 管理会計上の概算数値
※ セグメント間売上高を含む
※ 中間連結会計期間より、新連結会計システムの導入で製品別情報をより詳細に把握できるようになったため、収益の分解区分を見直し、従来「紙」「板紙」等に含めていた「パッケージング」「ビジュアルコミュニケーション」に係る収益を独立区分で計上する等の変更を実施し、前年分にも適用。

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

事業ポートフォリオ別実績　（アジアパシフィックセグメント）

業績の概要

- ✓ 紙・板紙事業は、豪州を中心とする需要低迷で販売数量が減少したものの、販売価格の見直しにより売上総利益は両事業とも増加。
- ✓ パッケージング事業は、豪州の小売・食品向け包装資材の販売数量拡大、前期に取得した会社の貢献、販売価格の見直しにより、売上高、売上総利益ともに大きく増加。
- ✓ ビジュアルコミュニケーション事業は、既存事業の販売増と2026年4月に取得したSpandex Australiaの寄与、豪州・ニュージーランドでの販売価格の見直しにより、売上高、売上総利益ともに大幅に増加。

（単位：百万円）	売上高			売上総利益		
	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比
紙	13,008	**13,634**	+4.8%	2,705	**3,240**	+19.8%
板紙	2,198	**2,020**	△8.1%	479	**480**	+0.2%
パッケージング	8,013	**11,653**	+45.4%	2,914	**4,029**	+38.3%
ビジュアル コミュニケーション	4,929	**7,578**	+53.7%	1,435	**2,389**	+66.5%
その他	2,311	**2,871**	+24.2%	387	**499**	+28.9%
合計	30,460	**37,756**	+24.0%	7,919	**10,637**	+34.3%

※ 管理会計上の概算数値

※ セグメント間売上高を含む

※ 中間連結会計期間より、新連結会計システムの導入で製品別情報をより詳細に把握できるようになったため、収益の分解区分を見直し、従来「紙」「板紙」等に含めていた「パッケージング」「ビジュアルコミュニケーション」に係る収益を独立区分で計上する等の変更を実施し、前年分にも適用。

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

貸借対照表増減（前期末比）

（単位：百万円）	2026年3月末	2026年9月末	前期末比
流動資産	236,036	**256,158**	+20,122
現金及び預金	12,633	**8,346**	△4,287
売上債権 （受取手形・売掛金、電子記録債権）	134,305	**150,610**	+16,304
商品及び製品	77,230	**85,735**	+8,504
固定資産	138,672	**165,125**	+26,453
有形固定資産	63,191	**86,264**	+23,072
土地	10,754	**33,356**	+22,601
無形固定資産	37,155	**39,580**	+2,425
のれん	14,917	**17,570**	+2,653
投資その他の資産	38,325	**39,280**	+955
資産合計	374,708	**421,284**	+46,576

（単位：百万円）	2026年3月末	2026年9月末	前期末比
流動負債	210,145	**252,420**	+42,274
仕入債務 （支払手形・買掛金、電子記録債務）	93,786	**103,573**	+9,786
短期借入金 （コマーシャルペーパー含む）	69,443	**98,329**	+28,886
固定負債	75,107	**75,621**	+513
長期借入金 （社債含む）	27,298	**27,360**	+62
負債合計	285,253	**328,041**	+42,788
株主資本	75,250	**76,085**	+834
その他包括利益累計額	14,187	**17,146**	+2,959
非支配株主持分	16	**10**	△5
純資産合計	89,454	**93,242**	+3,788
負債純資産合計	374,708	**421,284**	+46,576

増減の主な要因

・【売上債権】売上増加及びM&Aに伴い増加
・【商品及び製品】M&Aに伴い増加
・【有形固定資産】八重洲の土地取得等により増加
・【のれん】M&Aに伴い増加

増減の主な要因

・【短期借入金】M&A及び土地取得資金の調達により増加
・【仕入債務】事業規模の拡大及びM&Aにより増加
・【その他の包括利益】海外連結子会社の純資産の為替換算調整額の増加

為替レート（期末レート）
26年9月末
EUR＝185.87円
豪ドル＝112.61円
26年3月末
EUR＝184.33円
豪ドル＝104.82円

財務健全性

・ネットDEレシオ 1.3倍　・自己資本比率 22.1%

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

キャッシュ・フローの増減

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,559	2,572	前年同期比 △7,987 資金流出拡大　売上債権増による△10,651／棚卸資産増による △2,056 資金流入拡大　仕入債務増による+2,676／税前利益増 +2,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,037	△29,524	前年同期比 △26,486 有形・無形固定資産の取得支出増 △20,850 子会社株式の取得支出増（連結範囲変更あり） △5,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,885	21,969	前年同期比 +30,855 短期借入金の純増額拡大 +30,763／CP純増減の改善 +14,000 長期借入金の返済支出増 △13,123／自己株式の取得支出増 △1,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	△730	694	―
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,093	△4,287	―
現金及び現金同等物の期首残高	11,316	12,630	―
現金及び現金同等物の期末残高	9,222	8,343	―

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

02

2027年3月期 業績予想に対する進捗

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

連結業績進捗

- ✓ 売上高は進捗率49.0%と概ね計画通りに推移。営業利益は進捗率41.5%で、下期に積み上げていく計画。
- ✓ 紙事業ではグラフィック用紙の需要減少が続く。販売価格の見直しやパッケージング事業、ビジュアルコミュニケーション事業の伸長、M&Aの貢献でカバーを図る。上期に負ののれんによる特別利益を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益の進捗率80.7%。
- ✓ 通期予想は、現時点では2026年5月14日公表から変更なし。欧州事業の動向を注視していく。為替は想定レートより円安で推移。

（単位：百万円）	2027年3月期 業績予想	2027年3月期 2Q累計実績	進捗率
売上高	710,000	**348,018**	49.0%
営業利益	11,000	**4,568**	41.5%
経常利益	6,500	**3,231**	49.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	**4,034**	80.7%

想定為替レート
EUR＝180.00円
豪ドル＝99.00円

（参考）：26年3月期（期中平均レート）
EUR＝169.53円
豪ドル＝96.62円

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

セグメント別業績進捗

（単位：百万円）

		2027年3月期 業績予想	2027年3月期 2Q累計実績	進捗率
北東アジア	売上高（セグメント間売上を含む）	303,500	149,151	49.1%
	セグメント利益	2,700	1,499	55.5%
欧州／米州	売上高（セグメント間売上を含む）	335,000	162,073	48.4%
	セグメント利益	5,870	1,505	25.6%
アジアパシフィック	売上高（セグメント間売上を含む）	70,000	37,756	53.9%
	セグメント利益	2,850	1,380	48.4%
不動産賃貸	売上高（セグメント間売上を含む）	1,500	1,006	67.1%
	セグメント利益	750	699	93.2%
合計	売上高（※調整額を含む）	710,000	348,018	49.0%
	営業利益（※全社費用等調整後）	11,000	4,568	41.5%

想定為替レート
EUR＝180.00円
豪ドル＝99.00円

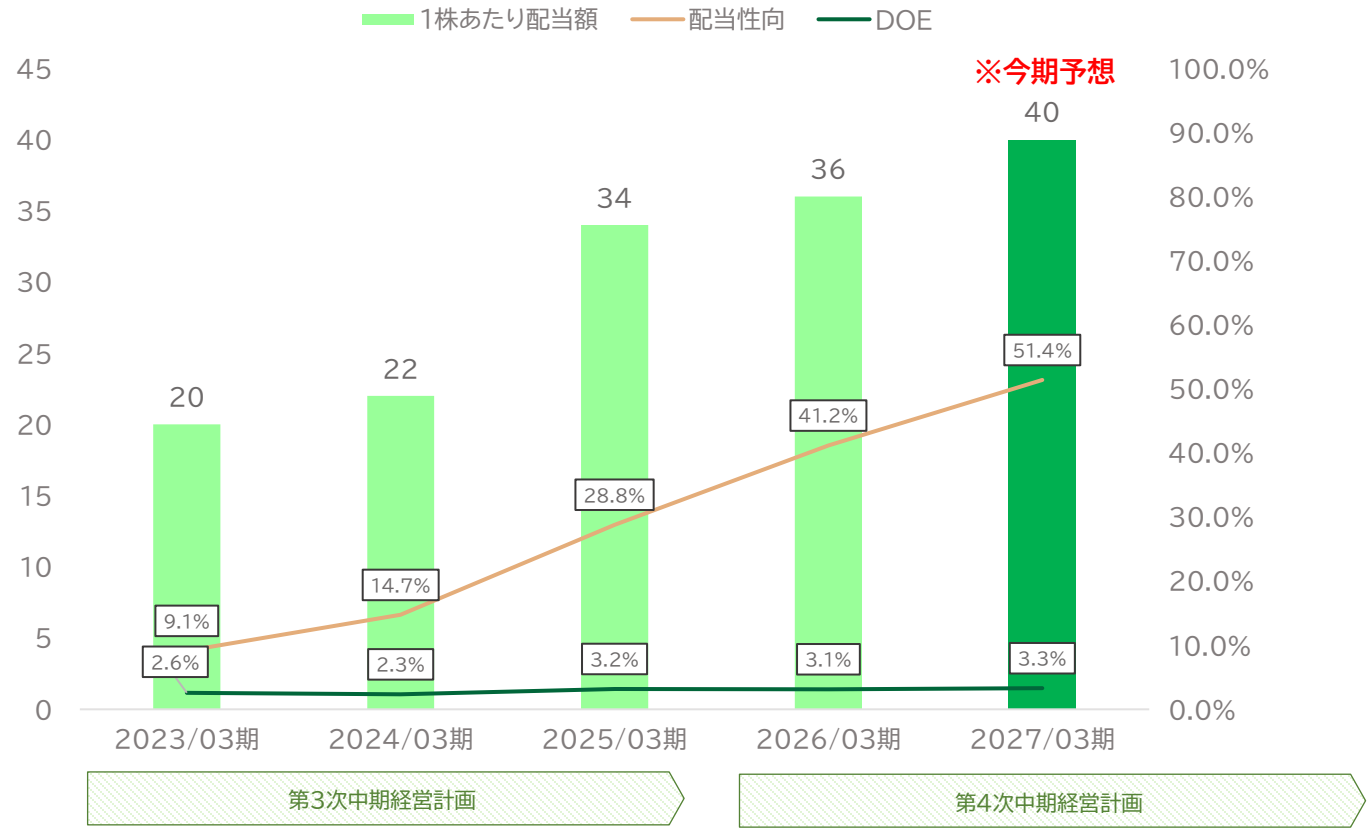
（参考）：26年3月期（期中平均レート）
EUR＝169.53円
豪ドル＝96.62円

※ 売上高の調整額…セグメント間取引の消去等
※ 全社費用等…主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

株主還元（2026年7月21日開示事項を反映）

- 配当については、業績とキャッシュフローが安定的に推移していること、ならびに増配が資本効率（ROE）の向上に資することを踏まえ、27年3月期は1株あたり40円を予定。
- 自己株式の取得については、政策保有株式の売却によって得た資金の一部に加え、成長投資に充てる資金に余剰が生じた際には、その相当額を自己株式取得の原資として充当する方針。



配当方針：連結配当性向30%を目安にするとともに、DOE（連結株主資本配当率）3.0%を下限

自己株式の取得

- 取得株式総数　　6,000,000株（上限）
  （自己株式を除く発行済株式総数に対する割合：4.5%）
- 取得価額の総額　　7,200百万円（上限）
- 取得期間：2026年7月1日～2027年3月31日

株主優待

- 基準日（3月末/9月末）時点で100株以上所有の株主様に1,000円分の図書カードを進呈（年2回）。



※「クレヨンしんちゃん」デザインに変更

※ DOE（連結株主資本配当率）＝（年間配当総額÷連結株主資本）×100：連結純資産から株式市場や為替動向で変動するその他の包括利益を除いた連結株主資本をベースとする。

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

03 第4次中期経営計画進捗状況（2026年3月期～2028年3月期）

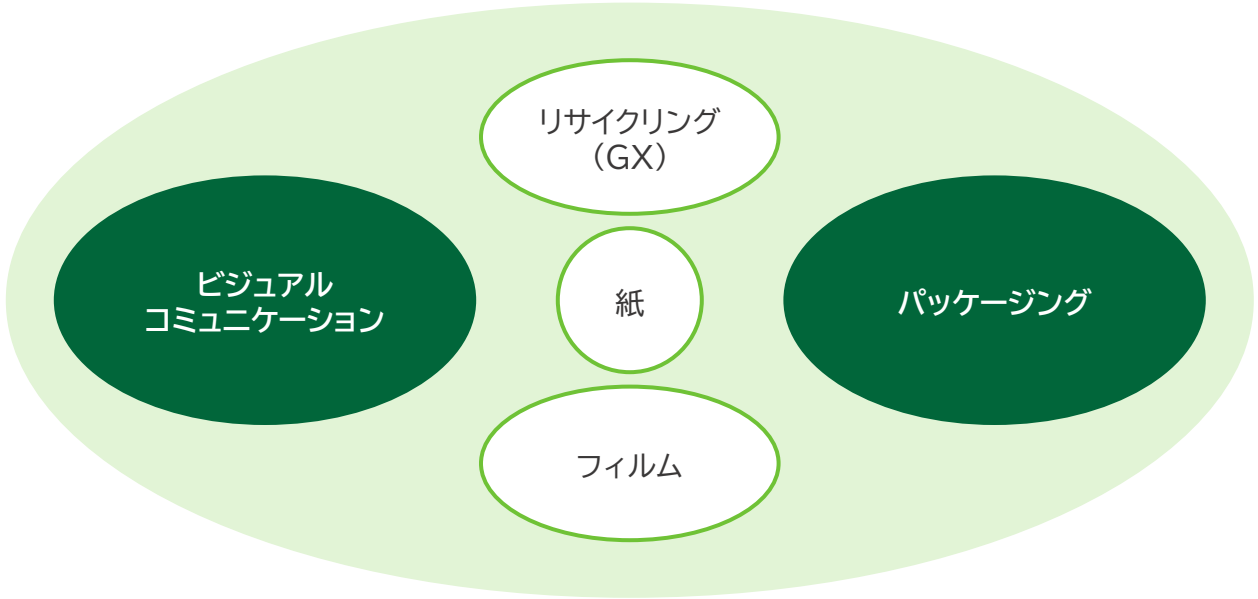
COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

M&Aによるポートフォリオ転換を着実に実行

ROE向上に向けた事業ポートフォリオ転換の実行手法として、成長領域を補完・強化するM&Aを推進

2027年3月期 M&A件数:5社
2027年3月期業績貢献金額(見込)
売上高 230億円→370億円, EBITDA: 23億円→29億円
※2026年3月期通期決算公表時との比較

New 豪州:Spandex Australia
New 日本:中外写真薬品
New 日本:プロスパーグラフ



New 欧州:Hein Verpackungen
New 欧州:Speidel

事業ポートフォリオの転換
- ボルトオン型M&A*の推進
- 新規ビジネスの創出

事業領域の拡大
- 新しい製品
- 新しい市場
- 新しいビジネスモデル

グローバルシナジーの追求
- 仕入情報／販売情報
- マーケティング

Eビジネスの拡大・DXの推進
- DXの推進による業務システム／プロセスの変革
- Web shopの拡大

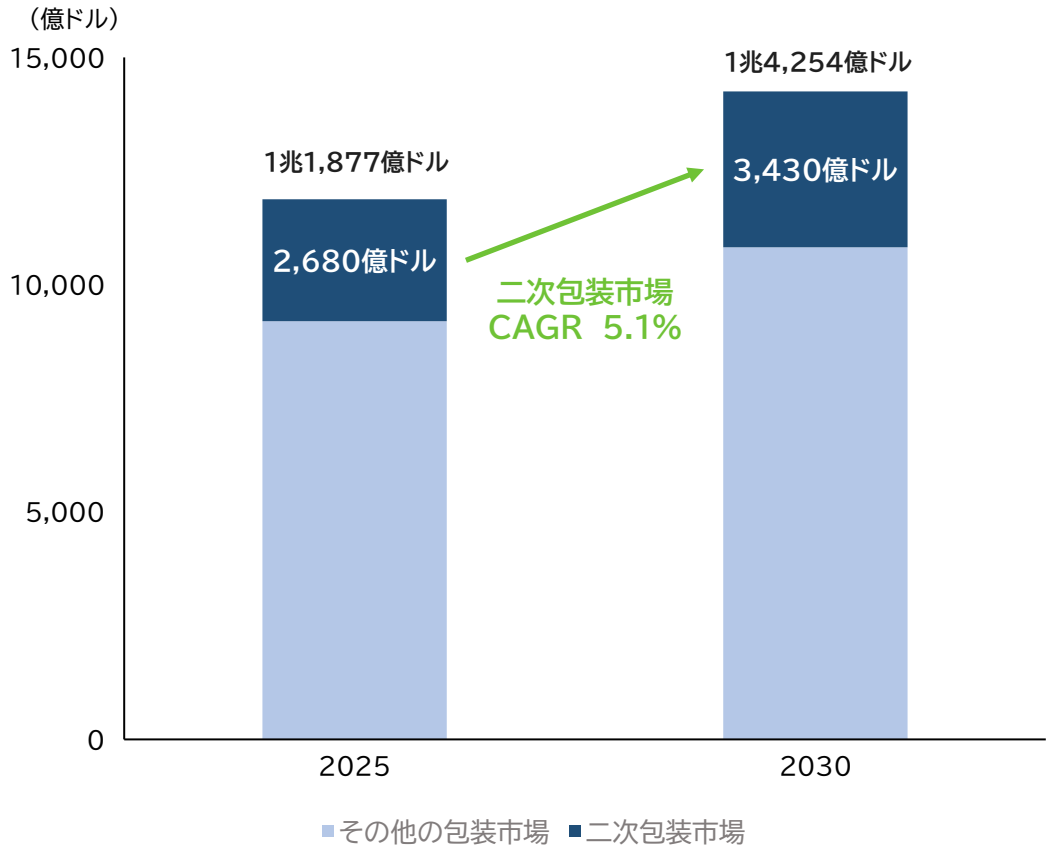
戦略に沿ったM&Aの実行に加え、買収後の収益貢献とシナジー創出を通じ、事業ポートフォリオ転換をROE向上につなげる

＊ボルトオン型M&A…既存事業の相乗効果(補完・強化)を目的とするM&A

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

注力事業の市場成長性

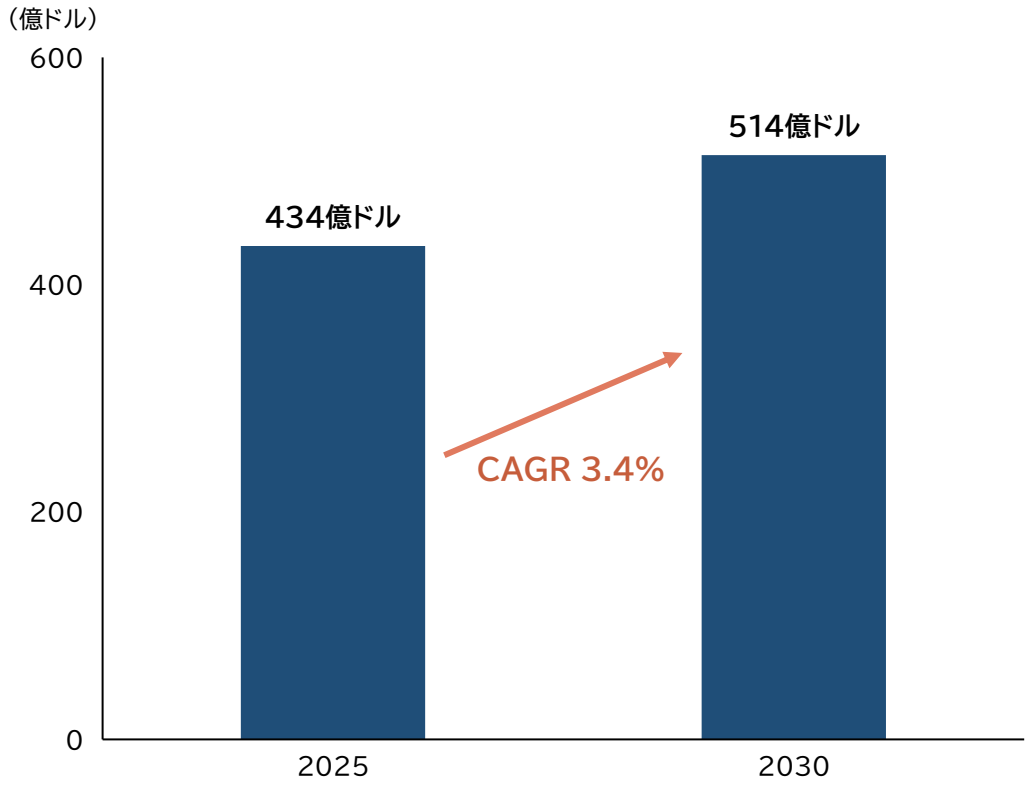
世界のパッケージング市場
2030年には二次包装で3,430億ドル規模



※ 二次包装＝商品そのものを包む一次包装を束ねて保護・輸送する包装（段ボール、化粧箱など）

Source：複数の調査会社公開情報を基に当社推計

世界のビジュアルコミュニケーション市場
2030年には514億ドル規模



Source：複数の調査会社公開情報を基に当社推計

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

Spicersによるビジュアルコミュニケーション(”VC”)事業拡張

顧客基盤・商材・調達力を統合し、豪州ビジュアルコミュニケーション市場での最大級のプレーヤーへ

Spandex Australia

・2011年設立、豪州全土でVC事業を展開するディストリビューター

・VC関連の包括的な製品ラインアップ、専門的な技術サポート、信頼性の高い流通サービスにより、市場において確固たる地位を確立









成長戦略の柱

1 豪州主要都市の拠点網を活かして市場アクセスを拡張

シドニー、メルボルン、ブリスベン、パース、アデレードに拠点を持ち、豪州全土にVC関連製品を供給

2 顧客基盤と包括的製品ラインアップを統合しビジネス規模と市場プレゼンスを強化

両社の製品提案力の向上と調達力拡大により、グローバルサプライヤーとのパートナーシップを強化

3 専門的な技術サポートで高付加価値ビジネス展開を実現

プリンター等の機器販売を起点に、消耗材需要の取り込みと専門的技術サポートで、継続収益型ビジネスを展開

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

Antalisによるパッケージング事業拡張

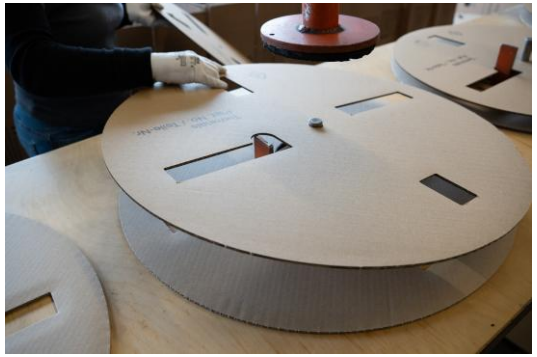
加工の内製化と物流最適化により、粗利率と収益性を向上

Hein Verpackungen

・1928年創業、ドイツ・バイエルン州ラウターホーフェンを拠点とし、オーダーメイドのパッケージング資材やPOSディスプレイ（小売店における商品展示用ディスプレイ）などを設計・製造











成長戦略の柱

1 高品質な製品と柔軟な対応力で高付加価値ソリューションを提供

日用消費財や自動車・電子機器等の製造業向けにオーダーメイド包装を提供するほか、小ロット・多品種・短納期のカスタム包装にも対応

2 デザインから印刷、加工、成型・販売まで一気通貫で提供

加工工程を内製化することで、パッケージングソリューションの提案機会を拡大するとともに、収益・コスト構造を改善

3 物流効率の向上により収益性を向上

既存のドイツ子会社との生産・物流連携を進めることで、加工費、輸送費、在庫配置を最適化し、収益性を高める

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

Antalisによるパッケージング事業拡張

特注設計力と加工工程の内製化を核に、産業包装の高付加価値化と事業基盤拡大を加速

Speidel GmbH

・1981年設立、ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州イリンゲンを拠点にパッケージング資材デザイン、加工、成形、販売およびソリューションを提供

・重量物向け高耐久大型段ボール、発泡体（フォーム）、木材などを組み合わせたオーダーメイド包装に強みを発揮









成長戦略の柱

1 製品開発能力を向上させ ソリューション提案力を強化

大型・高耐久段ボールに、発泡体や木材を組み合わせる設計・加工ノウハウを獲得し、製品の重量・形状・輸送条件に合わせた特注包装を、設計から製造まで一貫して提供可能

2 加工工程内製化により コスト構造を改善、収益性を向上

大型・高耐久段ボールの加工工程をグループ内に取り込むことで、外部加工費の削減や収益・コスト構造を改善

3 幅広い産業分野の顧客基盤を強化

医療機器、オートメーション機械、金属加工、自動車など、輸送時の安全性や製品保護に対する要求が高い産業分野の顧客基盤を強化

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

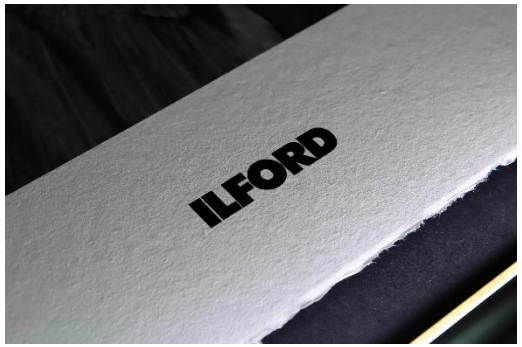
国際紙パルプ商事によるビジュアルコミュニケーション(“VC”)事業本格展開

国内VC事業を新たな収益源として確立し、北東アジアの事業ポートフォリオ転換を加速

中外写真薬品

・1948年設立、インクジェットメディア、大判プリンター、インクなど、VC関連の幅広い商品を展開

・写真薬品の製造、フォトグッズの販売に加え、世界的な写真ブランド「ILFORD」の商標権を保有







成長戦略の柱

1 KPPグループとのクロスセルによって新規顧客への提案機会を拡大

同社が持つVC商品ラインアップと、KPPグループの顧客基盤を組み合わせることで、販売機会を拡大

2 高付加価値製品・サービス提供による収益性の向上

プリンターなどの機器販売を起点に、ファインアート紙やインクといった消耗材の継続需要を取り込み、継続収益型ビジネスを展開

3 調達におけるグローバルシナジーを強化

KPPグループの海外ビジュアルコミュニケーション事業との連携を通じて、商品調達の効率化、海外商材・国内商材の相互展開を強化

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

国際紙パルプ商事によるビジュアルコミュニケーション(“VC”)事業本格展開

VC事業の提供領域を拡張
顧客への提案力でブランド価値向上を支援する高付加価値型ビジネスを推進

プロスパーグラフ

・1983年設立、ファッションアパレルやスポーツブランドを中心に、店舗デザイン、装飾物や販促物の企画・制作、施工までを一貫して提供

・デザインを起点とした高い企画力と豊富な業界知見を保有









成長戦略の柱

1 提案力・ソリューション開発力の向上

ブランディングから参画し、店舗やコンセプト設計から、販促物、什器、装飾物の企画・デザイン、出力・加工、施工まで一貫対応する知見を取り込み、VC事業における提案力およびソリューション開発力の向上を図る

2 VC関連販売力を強化

メディア、プリンター、インク等のVC関連商材に、同社のデザイン、出力、加工、施工までを組み合わせることで、資材販売から企画・制作・施工までVCバリューチェーンを拡張

3 新たな顧客価値の創出と事業領域の拡大

KPPグループが有する国内外の事業基盤やネットワークとの連携を通じて、クロスセルが可能となり、新たな需要と顧客価値を創出

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

免責事項
Disclaimer

- 本資料には、将来の業績や経営計画等に関する見通しが含まれています。これらの将来見通しは、本資料の作成時点において当社が入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性を内包しています。実際の業績等は、さまざまな要因によりこれらの見通しと大きく異なる可能性があります。
- 将来見通しに関する記述は、本資料の作成時点におけるものであり、当社は新たな情報や将来の事象等を踏まえて、本資料の内容を更新、修正または訂正する義務を負うものではありません。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得、売付けまたは買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」といいます）も構成するものではなく、勧誘行為を目的としたものでもありません。また、本資料は、いかなる契約や義務の根拠となるものでもありません。

お問い合わせ先

KPPグループホールディングス（株） IRお問い合わせ窓口
https://www.kpp-gr.com/ja/contact/contact5.html

COPYRIGHT © KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

紙でつなぐ、未来をつくる

Paper Innovation for a Connected Future